資

料

設計・施工に関する下地のご注意

まずは施工可能かどうかをご確認ください。

介 下地を新設する場合

施工可能な下地の例

- ●せっこうボード(推奨 12.5mm以上)
- ●けい酸カルシウム板(推奨6mm以上・比重0.8以上)
- ●モルタル面

(含水率 4.5%以下・密着強度 1.0N/mm2以上・不陸2mm以下・平滑な金ゴテ仕上)

- ■ラワン合板(推奨9mm以 F)
- ※上記の下地でも、化粧材の施工部分に塗装などの仕上げが施されると、接着不良によるハガレ が発生する可能性がありますので、ご注意ください。
- ※下地材の選定と構造が、建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるか、 ご確認ください。

そのままでは施工できない下地の例

- RC壁への直貼り → モルタル仕上げ(下記②-B参照)
- ■ALC躯体への直貼り → GL工法(下記②-動参照)
 - 及び鋼製壁作製(下記の-風参照)
- ■湿気を帯びた下地 → 充分乾燥させる

そのままでは施工できない環境

- ●施工場気温が5°C未満 → 気温を5°C超に上げてください。
- ●施工場の湿度が90%超 → 湿度を90%未満に下げてください。
- ●結露が予想される時 → 結露しないように対策を取ってください。

② 躯体への下地材固定方法

A 鋼製壁

スタッドは65形以上を使用してください。下地材(せっこうボード等) を専用ビスで200~300mmピッチで固定してください。

※枠廻り・出隅・入隅部分の下地材端部は専用ビスで確実に固定してください。

B RC壁 モルタル仕上げの場合

モルタルはRC壁に対して接着が良いものを選定し、不陸がない ように仕上げてください。※モルタルの含水率が4.5%以下になってから 施工してください。(密着強度 1.0N/mm²以上・不陸2mm以下・平滑な金ゴテ仕上)

C RC壁 木胴縁の場合

24mm×45mm程度の縦胴縁を300mm・横胴縁を450mmピッチで躯 体にアンカー・カール・釘で固定し、下地材 (せっこうボード等)を 専用ビス(300mmピッチ)と接着剤を併用して固定してください。

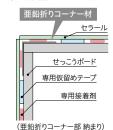
D RC壁

GL工法*の場合 *吉野石膏株式会社による工法です。

せっこうボードメーカーの仕様を厳守してください。

※GLボンドは水性ですので、施工後は養生を充分取ってください。目安として約20日間は養生が必要です。 (乾燥したことを確認してから施工してください。)

特に、出隅においては、30mm×30mm×0.4mmの亜鉛折りコーナーで補強してください。



出隅は亜鉛折りコーナーで確実固定を!

推奨『亜鉛折りコーナー』

(株) 創建

【施工方法】

☎ 03-5992-6411 品番:01410

- 1.下地材に亜鉛折りコーナー材を速乾ボンドで完全に接着する。 2.亜鉛折りコーナー材に接触しないよう専用仮留めテープを貼付ける。
- 3. 亜鉛折りコーナー材の ト、及び専用仮留めテープの内周に
- 専用接着剤 (SE-1) を塗布する。

既存下地に施工する場合

施工可能な下地の例

(チェック方法:下記22-B、G参照)

セラール以外の化粧材でONタイル 工法をご検討される場合は、必ず最

(浮き・ハガレがなく不陸が5mm未満(目安)の場合に限ります。) \ 寄りの当社へお問い合わせください。

●モルタル面

含水率 4.5%以下・密着強度 1.0N/mm²以上・平滑な金ゴテ仕上

不陸が2㎜以下の場合→ М エ 法

不陸が2mmを超える場合→ ONタイル工法

縦方向

不陸

(四)

下げ振り

そのままでは施工できない下地の例

●塗装面 → 塗膜の除去、もしくは施工可能な 下地材を上貼りする。(ビス固定等)

●クロス面 → クロスを除去し、施工可能な

下地材を上貼りする。(ビス固定等)

●化粧面 → 化粧部分の除去、もしくは施工可能な

(突板・シート・樹脂等) 下地材を上貼りする。(ビス固定等)

2 下地状態のチェック・対処方法

A タイル表面の汚れ

タイル表面の汚れは充分に除去してください。

B タイル表面の不陸

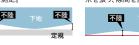
右図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を 用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。 ※現下地で施工可能な最大不陸は5mm未満 (目安)です。

5mmを超える場合は、下地を作製してください。

※タイル表面の不陸調整は仮留めテープの貼り増しで行ってください。 タイル表面にはプライマーは塗布しないでください。

下地が凸の場合

水平な定規をあてがい、隙間を測定。



直定規

下地が凹の場合 糸を張り、隙間を測定。



古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、右図のよう に打診検査 (テストハンマーなどでタイル表面を叩きタイルの異 常音を音で判断)でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥 がれたタイルは以右の方法での補修をお薦めします。



対処方法 エポキシ樹脂モルタルの充填

アイカ製品 ジョリシール JB-18L (プライマー・タックコート) とJE-9001 (専用骨材)

対処方法 モルタルの充填又は全面打設

上較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで幅広い対応が可能です。躯体 (コンクリート・ブ ロック)とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。 接着強度:1.0N/mm²以上

対処方法 下地作製

ータイルと付着強度が良好な薄塗りできるモルタルで不陸調整を行うか、6㎜以上のけい酸カルシウム板(比重1.0) または、9mm以上のラワン合板で下地を作製してください。 ②ご注意 下地の作製にあたっては、 建築基準法、火災予防条例での法令・

※モルタル:含水率4.5%以下・付着強度1.0N/mm、平滑な金ゴテ仕上 ※打ル酸カルシウム板、ラワン合転・必ず躯体にどス固定してください。 法規に ※下地材をモルタル打設、けい酸カルシウム板、ラワン合板で作製した部分は予めプライマー (JW-900N (溶剤系) もしくはRA-900 (水系)) を全面塗布してください。

対処方法ピンニングによる樹脂注入固定

下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。









JB-18をグリスガンにて穴 注入量:25~30g/1穴

コンクリートドリルにて浮きのあるタイルの中 央に1箇所、躯体に達するように穴をあけます。穴の内側を十分に清掃してください。

の最深部より充填していき、 タイル表面と同じレベルになるまで充填します。樹脂が固まっ た後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。

② ご注意 上記に該当しない下地材についての施工の可否は、必ず最寄りの当社へお問い合わせください。

資

セラール、アイカメタル不燃 M工法

M工法とは、ボード系下地にアイカの不燃壁材やメラミン壁材を施工するための工法です。

施工前にご確認ください

下地のチェック

まずは「設計・施工に関する下地のご注意」 左ページ をよくお読みのうえ、施工可能な下地であることをご確認くださ い。そのままでは施工できない下地の場合、適切な処理を行なっ てから施工してください。また、下地材の選定と構造の作製は、建 築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであ るか、ご確認ください。

プライマー塗布が必要な下地

●モルタル面 ●けい酸カルシウム板 ●ラワン合板

専用プライマー JW-900N (溶剤系) もしくはRA-900 (水系) を全面に 塗布してください。

安全対策

溶剤系プライマー等を使用する際は、次の項目を実施ください。

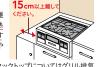
- 1 換気には十分注意する。
- 2 火気及び換気に十分注意する。
- 3 皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は 送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用する。

貼付壁の確認 (加熱調理機器廻り)

キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、セラール表面 、への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

●コンロの側面からセラールの表面まで15cm以上離 してください。15cm以上離せない場合、コンロの熱 により変色やコゲが生じ美観を損なう事があります のでステンレスパネルを使用してください。(変色や コゲが発生しても不燃性能には問題ありません)



- ●グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気 で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウ ンターで使用する場合はステンレスパネルを使用してください。
- ●奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接 する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合はステンレスパネル (ZK-8等)を使用してください。

据え置きタイプコンロの場合

●据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合(側面、背 面)はステンレスパネルを使用してください。

※以上の条件を満たしても直接炎がセラールに当たらないようにご注意ください。 ※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。

※ コノロの同のと構造を作製してください。 ※業務用のコンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。 ※加熱された銅類が直接セラールに触れる事が無いようにしてください。

目地について

●コンロに近接する部位に目地を取らないでください。



加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起こ らないように刃物は新しいものをお選びください。

■切断加丁

防じん丸ノコ (チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について

刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」 「刃厚」はお手元のハンディソーに合ったものを、「刃数」はでき るだけ多いものをご使用ください。

セラール		アイカメタル不燃		r
外径	刃数	外径	刃数	1
100φ	60P	165Φ	72P	1
125 ¢	80P			1
165 ¢	72P	185φ	72P	

左記の木工用のチップソーで 切断可能ですが、 刃の消耗は速くなりますの で、ご了承ください。

※セラール用のチップソーをご用意しています。

■穴あけ加工 ドリル (直径120以下の場合)、ホールソー 自在ぎり(直径120を超える場合)

■仕上げ サンドペーパー、ヤスリ

養生(2日間)

7

施工の手順

1 プライマー処理

2 割付け

3 カット・加工

4 仮留めテ 貼り

5 接着剤塗布

6 貼付け

ーリング 処理

保護フィルム 剥がし

8



●下地材がモルタル面・合板・け い酸カルシウム板の場合、全面 に予めプライマー (JW-900N (溶剤系) もしく

はRA-900 (水系))を塗布して ください。

3×8サイズで3~4枚分/ka

2 割付け



- ●下地材の目地と仕上げ材の目 地が重ならないように、割付 けてください。
- 突きつけ施工はできません 必ず、3mm以上の目地を取って ください。 ●ジョイナーで施工する場合に
- も、必ずクリアランスを取って

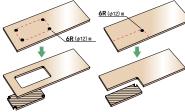
3 カット・加工



化粧面ノ

●切断は当木を用いて、必ず刃 物を表面から入れて裏面から 出るようにしてください。(表面 には保護フィルムが貼ってあ ります) ●穴あけ・切り欠きは必ず6R(Φ

12)以上の刃物を用いて、表 面からコーナー部に穴をあけ てから行ってください。



- 穴あけの手順
- ①ドリルで四隅に穴をあける。 ②ノコでカットする。 ③カット面を**面取り**する。
- 切り欠きの手順
 - ドリルで角に穴をあける。
 ノコでカットする。 カット面を面取りする。





図のようにピン角でカットした場合、クラック発生の恐れがありますので、 切り欠きでなく、複数枚を使用する割付けとしてください。

仮留めテープ貼り



●仕上げ材の端部に接着剤を 塗布するためのスペース30mm をあけて、仮留めテープを貼 付けてください。

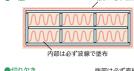
接着剤塗布

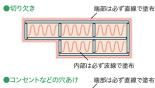


ださい。 ●什トげ材外周には必ず接着剤 を塗布してください。(外周塗 布がない場合や、塗布量が少 ない場合には、端部の浮きが 発生することがあります)

●仕上げ材3尺×8尺1枚に対して、アイカ エコエコ ボンドSE-1を1本が目安の塗布量です。塗布量が 少ない場合、剥がれなどの原因となります。3尺× 8尺以外のサイズにつきましては、接着剤の塗布 量および仮留めテープの使用量が異なります。 ●接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してくだ







内部は必ず波線で塗布 穴あけ部分拡大図

6 貼付け



- ■由中部に運ぎが発生しないように注音して 仕上げ材を貼付けてください。
- ●仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。 ※接着創部を押さえると泣き別れの恐れがあります。 ※施工用吸盤を使用する場合、吸盤のゴム成分によっては製品 表面に着色する場合がありますのでご注意ください。

77 シーリング処理







ヘラなどを用いて、余分なシ リコーンをかき取ります。

マスキングテープを**ゆっくり** と内側に剥がします。

🔞 保護フィルム剥がし

●2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

完成

[施工についてのご注意]

- ●カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取り してください。
- ●目透かしシーリング納めの場合、カットしてない面も軽く糸面取り してください。

資

料

セラール ONタイル工法

ONタイル工法とは、タイルの上に壁材を施工するための工法です。

施工前にご確認ください

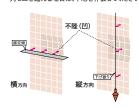
下地のチェック

まずは「設計・施工に関する下地のご注意」をよくお 読みのうえ、施工可能な下地であることをご確認ください。その ままでは施工でさない下地の場合、適切な処理を行なってから 施工してください。

タイル表面の不陸の測定方法

下図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面 の水平・垂直の不陸を測定してください。

ONタイル工法で調整可能な最大不陸は5mm未満(目安)です。5mmを超える場合は、下地を作製してください。



貼付壁の確認 (加熱調理機器廻り)

キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、セラール表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

●コンロの側面からセラールの表面まで15cm 以上離してください。15cm以上離せない場 合、コンロの熱により変色やコゲが生じ美観を 損なう事がありますのでステンレスパネルを 使用してください。変色やコゲが発生しても 不燃性能には問題ありません)



- ●グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのケックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウンターで使用する場合はステンレスパネルを使用してください。
- ●奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合はステンレスパネル(ZK-8等)を使用してください。

据え置きタイプコンロの場合

●据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合 (側面、背面) はステンレスパネルを使用してください。

※以上の条件を満たしても直接炎がセラールに当たらないようにご注意ください。 ※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。 規制に従った構造を作製してください。

※業務用のコンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。 ※加熱された鍋類が直接セラールに触れる事が無いようにしてください。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起 こらないように刃物は新しいものをお選びください。

■切断加工 防じん丸ノコ

(チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について

刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」 「刃厚」はお手元のハンディソーに合ったものを、「刃数」はで きるだけ多いものをご使用ください。

セラール		
外径	刃数	
100φ	60P	
125 φ	80P	
165 ¢	72P	

※セラール用のチップソーをご用意しています。

■穴あけ加工 ドリル (直径12φ以下の場合)、ホールソー

自在ぎり(直径12φを超える場合)、

仮留めテープ部

ホールソー、トリマー

■仕上げ サンドペーパー、ヤスリ

施工の手順 養生(2日間) 1 3 5 6 8 カット・加工 🔷 仮留めテープ貼付け → 接着剤塗布 → 下地処理 割付け ーリング 保護フィルム 貼付け による不陸調整 処理 剥がし

専用仮留めテープ

約300

仮留めテープ貼付けによる不陸調整

1 下地処理



●クリーナー洗浄→水洗浄→乾 拭き等で施工面を清潔にしてく ださい。

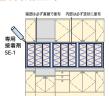


●貼付タイル面の端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。
●貼付面の中央部は仮留めテ

■貼付面の中央部は仮留めテ ープが約300mmピッチ(左 図)になるようにしてください。

い。
●不陸の調整は1mm厚及び3mm厚の仮留めテープを重ねて行います。

5 接着剤塗布



●接着剤は仮留めテープの厚さより3mm 以上の高さになるように塗布してください。 ●貼付タイル面の外周には必ず接着剤を塗布してください。(外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮

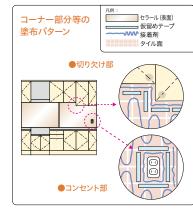
きが発生することがあり

●貼付タイル面3尺×8尺の面積に対して、専用接着剤は2本/アイカ エコエコボンド SE-1が目安の塗布量です。(不陸が無い場合)塗 布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。下配条件により 専用接着剤を選定ください。

●接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

※専用接着剤使用時のご注意 不陸0~4mmの場合 ⇒ SE-1

ただし不陸が5mm以上の場合、気温が5℃以下の場合は施工できません。





貼付け



●中央部に浮きが発生しないように注意して、 仕上げ材を貼付けてください。

表面に着色する場合がありますのでご注意ください。

※施工用吸盤を使用する場合、吸盤のゴム成分によっては製品

る部分のみ、表面の保護フィルムを剥がしておきます。





へラなどを用いて、余分なシ リコーンをかき取ります。

マスキングテープを**ゆっくり** と内側に剥がします。

3 保護フィルム剥がし

●2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

完成

[施工についてのご注意]

- ●カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- ●目透かしシーリング納めの場合、カットしてない面も軽く糸面取り してください。

